

# アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT

みかん

## 発芽期の管理

果樹林産センター 信方 浩志郎



### 開花前の管理

近年、樹ごとの花のバラつきが目立ちます。表年の樹、裏年の樹を判断し、樹の状態にあった管理を行ってください。花が多いと思われる樹では、隔年結果は正や高品質果栽培を目的に摘蕾、摘花を早い時期から行いましょう。

### 葉面散布

充実した子房を作ることと品質の良い果実生産につながります。花の充実のために、花芽が見える頃から開花まで尿素500倍を5〜7日置きに3回程度葉面散布しましょう。

### 病害虫防除

そうか病は、新芽が展葉する時期から感染が始まります。発芽時期は地区や樹勢などで変わるため、園地をよく観察し新梢が1cm程度に伸長する頃を目安に防除をしてください。また、発病している枝葉は剪除し、園外に持ち出してください。

近年、カイガラムシ類の発生がみられます。この時期にマシン油乳剤とアプロードフロアブルを混用することでカイガラムシ類の第1世代幼虫の発生が抑制できます。冬期にマシン油乳剤を散布しなかった園地では、気温の上昇とともにミカンハダニの発生が見込まれるため、混用して防除を行いましょう。

### 4月

- ・マシン油乳剤(97%) 1000倍
- ・アプロードフロアブル 1000倍(14日〜3回)
- ・デランフロアブル 1000倍(30日〜3回)

### 苗木の管理

3月に定植した苗木は初期生育が重要です。成木と比較して土壌の乾燥に弱いので、晴天が続く場合はかん水を行いましょう。雑草抑制も含めて敷きわらの活用が有効です。発芽後はアブラムシやアゲハチョウ、ミカンハモグリガの被害を受けないように防除を徹底しましょう。